

令和 7 年度



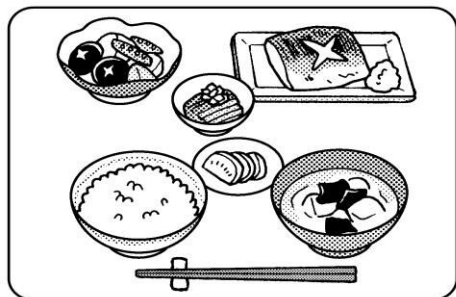
調布市立第八中学校

すっかり日暮れも早くなり、秋の深まりを感じる季節になりました。寒暖差が大きくなる時期でもありますので、体調に気をつけ、定期考査に向けてきちんと食べ、ぐっすり眠り、しっかり勉強しましょう。

11月24日は和食の日

みんなで
守ろう！

「和食文化」

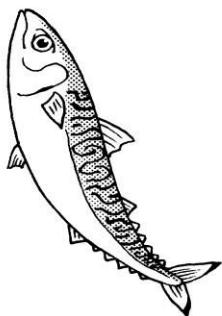


和食は、料理そのものだけではなく、「自然を尊ぶ」という日本人の精神に基づいた文化として世界に広く認められ、「和食；日本人の伝統的な食文化」として、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。これは「和食文化」が、人類共通の財産になったということでもあり、わたしたちが、これを守り、受け継いでいくことが求められています。

和食文化の4つの特徴

① 多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重

日本は、海、山、里と豊かな自然の中で、各地域に根差した多様な食材があります。また、素材の味わいをいかす、調理技術・調理道具が発達しています。



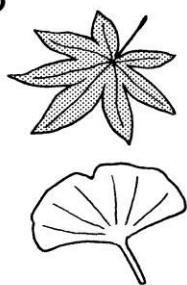
② 健康的な食生活を支える栄養バランス

ごはんを中心に汁物、香の物、3つの菜（焼き物や煮物、あえ物など）を組み合わせる「一汁三菜」は、理想的な栄養バランスといわれます。



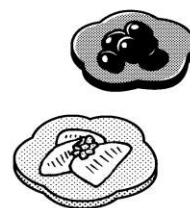
③ 自然の美しさや季節の移ろいの表現

季節に合った花や葉などで料理を飾り、調度品や器を利用して、自然の美しさや四季の移ろいを表現することで、季節を楽しみます。



④ 正月などの年中行事との密接なかかわり

和食文化は、年中行事と共に深くかかわっています。自然の恵みである「食」をわけ合い、食の時間を共にすることで、家族や地域の絆を深めてきました。



★毎年11月30日は「ゲゲゲ忌」★

～ 水木マンガの生まれた街 調布 ～

「ゲゲゲの鬼太郎」の作者である漫画家・水木しげるさんは調布市の名誉市民です。鳥取県境港市で育ち、昭和34年から93歳で亡くなるまでの56年間を調布市で過ごしました。調布駅～西調布駅間に開園した「鬼太郎ひろば」が市民の憩いの場となっているほか、市内を走るミニバスやマンホールにも、鬼太郎とその仲間たちが描かれています。

調布市では、水木しげるさんの功績を称え、命日である11月30日を「ゲゲゲ忌」とし、様々な催しが行われています。調布市の学校給食では、毎年「ゲゲゲ忌」にちなんだ献立を用意し、生徒の皆さんに楽しんでもらっています。

そこで、第八中学校でも、18日に「めいかべトースト」、28日は水木先生の大好物だった「鶏団子鍋」と、「焼きめし」を提供します。今年も楽しみにしててください。



©水木プロ